

府立成人病センター跡地等のまちづくり方針【概要】

- 今後の大都市・大阪における超高齢社会に対応したまちづくりのあり方として、今いる住民が住み慣れた地域で安心して快適に住み続けられ、多様な世代の新たな住民を惹きつける、課題解決型の活気あるまちづくりが求められる。
- 府立成人病センター跡地等のまちづくりについては、その立地特性を活かし、大学の都心回帰傾向を捉えた「高等教育・研究機関」の立地や、超高齢社会のニーズに対応する「健康・医療・介護関連産業」などの立地により、森之宮周辺の活性化の先導役となることが期待される。

立地特性

《広域的利便性》

- ・ JR大阪環状線で大阪駅、天王寺駅に直結
- ・ 地下鉄中央線でバイエリアや奈良につながる
- ・ 阪神高速道路の森之宮ランプ、法円坂ランプに近接
- ・ 東西方向の幹線道路である中央大通に面する

《周辺土地利用》

- ・ 大阪城公園の東の玄関口
- ・ 交通利便性の高い都心外縁部
- ・ 地区の東側、南側は住宅中心。西側は住商混在

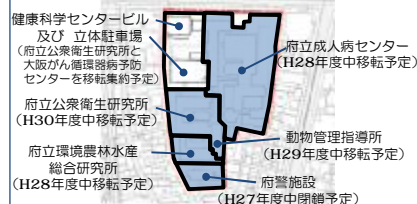
《緑・景観》

- ・ 大阪都心部最大のみどりの空間である大阪城公園に近接
- ・ 海と山をつなぐ「みどりの風の軸」である中央大通に面する

《交通アクセス》

- ・ 複数の路線（JR大阪環状線、地下鉄中央線・長堀鶴見緑地線）が交差し、各方面とつながるJR、地下鉄森ノ宮駅に近接

府関連施設の移転等検討状況



コンセプト

『多世代が交流する、学びと健康とにぎわいのまち』

～交通利便性と都心部最大のみどりを活かした人とまちを元気にする拠点～

土地利用ゾーニングと導入機能

多世代交流居住ゾーン

《子育て・ファミリー世帯向け居住機能》

- ・ 分譲マンション、賃貸マンション、保育所等



《高齢者向け居住機能》

- ・ 有料老人ホーム、特別養護老人ホーム、高齢者向け住宅等



周辺との一体的なまちづくり

《歩行者導線や広場、緑地等の整備》

- ・ 駅周辺につながる歩行者導線の整備
- ・ 住環境改善に資する広場、緑地等の整備



にぎわい創出ゾーン

《高等教育・研究機能》

- ・ 大学、研究機関、専門学校等



《健康・医療・介護分野の産業・研究機能》

- ・ 高齢者の生活支援サービス施設等
- ・ 健康・医療・介護関連の製品・サービスの実証の場となる施設及びショールーム等



《地域文化交流機能》

- ・ カルチャーセンター、コミュニティ・カフェ等



《商業・サービス機能》

- ・ 商業施設、専門小売店、飲食施設等



今後の進め方

